

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

頭部画像における眼球偏倚の有用性

2. 研究の対象患者

- ・脳虚血性疾患患者、てんかん患者
- ・頭痛・めまいなどの症状で神経内科を受診し、器質的な異常が見られなかった方

3. 研究の対象期間

2011年4月1日～2016年9月30日

4. 研究の概要

頭部CTは脳卒中などの診療において、最初に行われる事の多い検査である。脳梗塞患者では、頭部CTにおいて両側眼球が病側へ偏倚する事が知られており、early CT signを読影する上で有用とされている。しかし、全ての脳梗塞患者で偏倚がみられるわけではなく、時に逆側へ偏倚することも経験する。脳梗塞重症例では偏倚がみられやすいという報告はあるが、影響する因子について十分な検討はされていない。また、てんかんでも眼球偏倚はみられる事があり、本研究では両疾患における眼球偏倚の有用性を検討する。総合病院国保旭中央病院神経内科に入院および外来受診した患者を対象とし、頭部画像上の眼球偏倚角を測定し、その他の検査所見や臨床症状との関連を検討する。

5. 研究実施予定期間

2016年11月16日～2018年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：識別コード、年齢、性別、頭部CTおよびMRI、既往歴、診断名、臨床症状、症状の経過、治療内容、脳波、採血結果等

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：神経内科 小林 誠
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)